

# 風の国

リューミングエット

交換留学生・教育学部 ベトナム

日本が日出づる国と桜の花の国と言われてるなら、私は日本は特に和歌山が風の国だと思います。風は、単純にどこか一つの場所から他の所まで吹くというものではありません。和歌山の風は有形風、人間のように感情があります。私はこの風が大好きです！

和歌山では、どこでも風が存在しています。風は、木々の間をクネクネと通り抜けます。特に町が街灯で点灯され、沈黙の中に沈んだ時は、あなたが最も風の息を聞く時です。家のコーナーにこっそり入って、風は一つ一つの窓をノックしに来ます。風ちゃんは、すべての通りをさまよひ、すべての家をさまよひます…木の葉に当たりサラサラと音を立てます。店のシャッターを打ってガラガラさせます。自由の風は、好きなことが何でもできます。



先進国の日本では、車のうるさい音が通りを満たして、風の音を聞くことは難しいことだと思っていました。しかし、和歌山県に来ると、私の想像と全く逆でした。ここでは人々から車や自転車まで、すべてが時の車輪の中で動いて、生活は慌ただしく忙しいように感じますが、意外に静かなのです。

日本人は自分の都合で、他人に迷惑をかけるようなことはしないように感じました。和歌山の人々は風の土地に生まれるので、風のように心を開いて、寛大な心を持つのです。彼らは、見返りを求めず、利害を計算しません。私は、日本人は口には出しませんが、「外・内」という考え方をずっと持っていることを聞きました。あなたが長い間ここに住んでい

るかどうか、または日本語がどのように上手かどうか、それは関係なくて、あなたは決して日本人ではありません。永遠に「外人」のままです。

しかし、遠い国から来た私がここに住んでいる時、自分の家のように感じます。彼ら一和歌山の人々は、常に暖かい家族の食事や言葉で私を迎え、私の両親みたいに、心を込めて周りのことを教えてくれます。私が何回聞いても彼らは泣き言や文句なしです。私は彼らを「お父さん・お母さん」と呼んでいます。

あなたが和歌山に来た時は、きっと坂に慣れているでしょう。あなたがその坂でサイクリングした時、あなたが逆風で引き戻されたことは、必ず一番覚えている記憶でしょう。初めてこの場所で、私は風の強さを感じました。風はあなたを飛ばせるほどで、風であなたは足元をすくわれます。また、同じ坂で追い風が吹いたとき、あなたみたいにその道路を走行中の人々に推力をあげて、より速く走ることができます。もしかして風も、それぞれの生活の中で直面している困難や障害物みたいなものかもしれません。人生は、いつも進歩できるものではありませんが、困難に直面したおかげであなたは立ち上がって、これまで以上に強くなると思っています。



空港から和歌山に到着した時、私が初めて接触したのは風でした。春風が肌寒い中で私を迎え、風が拍手のように聞こえて、彼女が「人生の新しいページをめくることを準備してほしい」というメッセージを私に伝えたいようでした。春風の優しさとは裏腹に、今の時期の夏の風はいたずらに蒸し暑いのです。時々、雨のおかげで風が少し涼しくなります。

季節は目まぐるしく変わって行って風も変わります。もうすぐ新しい季節が来ます。この風は私をどこへ連れていくのだろうか？私は好奇心と期待でいっぱいです。